



障がいを持ちながらアートする人たちの美術展

The challenged Art展 in ちば

ザ・チャレンジド・アート展

主催：ライオンズクラブ国際協会333-C地区

後援：千葉県・千葉県教育委員会・千葉県社会福祉協議会

協力：千葉県障害者芸術文化活動支援センター「うみのもり」

開催にあたって

障がいを持ちながらアートする人たちの美術展「The Challenged Art 展 (ザ・チャレンジド・アート展)」は、障がいのある方が描いたアート作品の画像を公募展示する展覧会です。

ライオンズクラブ国際協会333-C地区(千葉県)では、障がいのある方の多彩な才能に光をあて、アート作品の新たな可能性を拓くための支援事業として開催します。

作品は千葉県内から広く募集し、専用ウェブサイトでの公開や千葉県立美術館で映像展示などを行います。このアート展を通じて、障がいのある方々と地域の方々がともに芸術にふれ、楽しみ、豊かな心が育まれる機会となることを願っています。

千葉県立美術館での作品紹介特設ブース



千葉県立美術館へ車いす2台寄贈

今回の事業にあわせて、千葉県立美術館へ車いすを2台寄贈いたします。1月30日(金)に会場で寄贈式が行われます。

応募作品について

ライオンズクラブ国際協会333-C地区(千葉県)内の96のクラブから地域の障がい福祉施設や特別支援学校などへ呼びかけて作品を募集しました。応募期間は2025年11月10日(月)～11月30日(日)で、作品はウェブで申し込んでいただく方法を採用しました。

164点の作品の応募をいただきました

たくさんのご応募ありがとうございました

表紙の絵画は応募作品の中から選んだものです

作品展示

1 千葉県立美術館 「うみのもりの玉手箱5」で 作品画像を映像展示

期間：2026年1月20日(火)～2月1日(日)

会場：千葉県立美術館特設ブース

令和7年度千葉県障害者芸術文化活動支援事業「うみのもりの玉手箱5」の実作品展示にあわせて、作品画像や創作活動を映像で展示・紹介するコーナーを開設。

2 専用ウェブサイト 「333c.art」で 作品画像を公開展示

2025年12月10日(水)～2026年4月30日(木)

いつでも、どこでも誰もが気軽に作品にふれられるように専用ウェブサイトで全作品を公開展示しています。



作品募集チラシ